

IB導入校の取組①
～都立国際高校IBコース
の現状と課題～

平成29年3月9日(木)
東京都立国際高等学校長
荻野 勉

IBDP開始まで

- H25.3 都教委よりIBDP開設準備校指定
- 国際バカロレア教育研究・開発委員会の設置・検討(～H26.3)
- H25.4 IBコース開設担当副校長と教員1名配置
- H25.10 候補校申請
- H26.3 候補校認定
- H26.4 日本人教員5名配置
- H26.11 コンサルテーション訪問・改善提案書受領
- H27.1 改善案の提出・認定申請 (一期生入学者選抜)
- H27.3 認定訪問
- H27.4 IBコース一期生入学
- H27.5 IBワールドスクール認定
- H28.4 IBコース二期生入学・英語によるIBDP開始
- H28.8 増築棟(IB校舎)完成

教育課程

入試

「平成28年度
国際バカロレアコースパンフレット」

3～4ページおよび9ページを
ご覧ください。

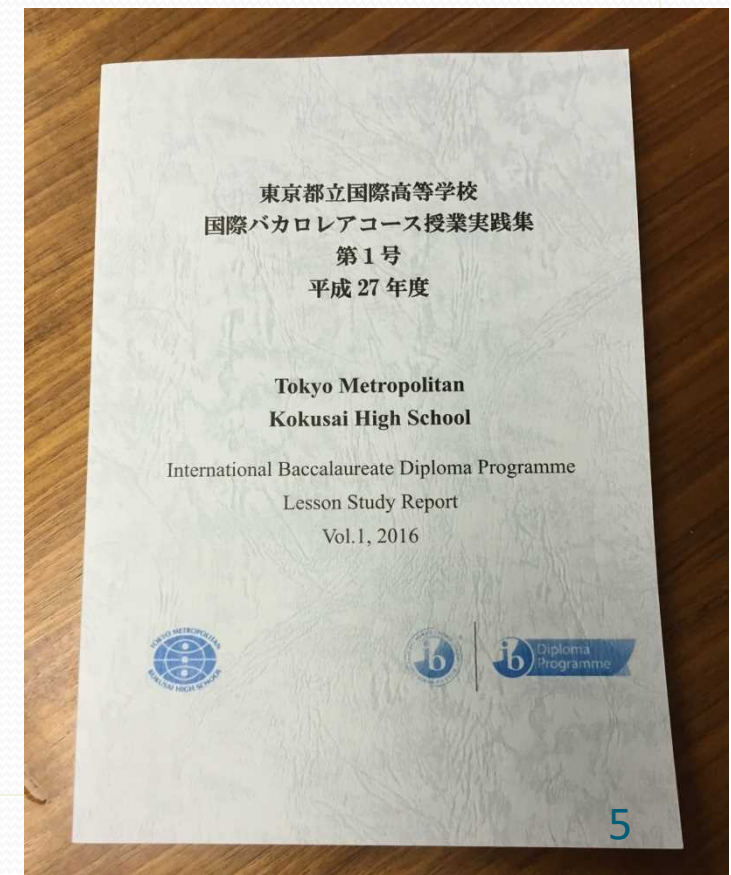
人事配置

- 副校長1名 日本人教員6名
講師9名(外国人9人 日本人3名)
非常勤業務支援教員(管理職退職者)2人
- 週各一回(各1時間)の「教員研修」(PD)と「情報共有」(PM)



教員研修と授業づくり

- 年2回以上の管理職による「授業観察」と振り返りの面接
- 年3回ほどの海外でのワークショップ参加(日本人教員)
- オンラインワークショップや校内ワークショップ受講(講師)
- 研究授業の実施と授業実践集の発行



IB生の声

● 探究型・批評型・双方向型授業について

「中学時代は国語のテストは30点の時もあれば80点の時もあり、『運』だと思っていたんです。IBの国語の授業では、答えはひとつではなく解釈によって違うし、自分の意見を発表できる。友人の意見を聞くのも幅が広がって楽しい。国語という概念が全く変わりました。」



「これまでとは勉強の方法が全く違い、常に課題を終わらせることに精一杯。」

IB生の活動

- CASについて
- 映画作成とコンテストへの出品
NPO法人映画甲子園主催「高校生のためのeiga worldcup 2016」
タイトル「FOXGLOVE」入選、最優秀男子助演賞、優秀監督賞、優秀音楽賞
- セネガル・ガーナでの学校建設ボランティア
「トビタテ！留学JAPAN」の活用
- ロボットコンテスト参加の取組
「ワールド・ロボット・オリンピック・ジャパン2016」参加
- 緑化活動への参加
「所沢トロの森」での活動
- 外国人観光客向け
東京ガイドVTRの作成の取組





課題と対応

- 教育課程の改善
 - 学習指導要領(単位)とDP(実時間数)の両立
- 外国人教員の処遇改善
 - 能力が発揮できる安定した雇用制度の創設
- 図書館のソフト面の整備
 - 外国語で探究型の学習支援のできる司書の確保
- DPを継続・発展させていくための後継者の育成
 - IB担当教員のすそ野を広げる取組み
 - ⇒他の都立高校への成果の普及
 - 急な異動や退職に備えた即戦力となるIB教員育成制度の創設
 - ⇒IB教員候補者研修制度